

第 1 2 回串間市農業委員会総会

日 時 平成 2 7 年 5 月 2 9 日 午後 3 時

会 場 串間市役所 3 階大会議室

出席委員 1 9 名

1 番 (会長)	川崎 善昭	9 番	日高 善次	1 6 番	島田 俊満
		1 0 番	瀬治山満弘	1 7 番	金川 勇次
3 番	安田 敬司	1 1 番	鈴木 信	1 8 番	福田 孝義
5 番	内田 政秀	1 2 番	渡邊 豊雄	1 9 番	野邊 秀男
		1 3 番	谷口 利則	2 0 番	山下 貴義
7 番	塔尾 秀雄	1 4 番	野邊 俊博	2 1 番	鳴海 正文
8 番	瀬治山秋美	1 5 番	吉田 友子	2 2 番	岩下 哲見

欠席委員 2 名 2 番 井手重則 委員、 6 番 武田康典 委員

議事録署名委員 3 番 安田 敬司、 2 1 番 鳴海 正文

議事日程

第 1	報告 (合意解約)	農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について
第 2	議案第 6 7 号	農地法第 3 条の規定による許可申請について
第 3	議案第 6 8 号	農地法第 4 条の規定による許可申請に対する意見について
第 4	議案第 6 9 号	農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について
第 5	議案第 7 0 号	農用地利用集積計画の承認について (所有権移転)
第 6	議案第 7 1 号	農用地利用集積計画の承認について (利用権設定・認定農業者)
第 7	議案第 7 2 号	農用地利用集積計画の承認について (利用権設定・一般農業者)
第 8	議案第 7 3 号	農用地利用規定の認定に係る意見の聴取について

会 長 それでは、只今から、第 1 2 回農業委員会総会を開催致します。本日は、会長代理が全国農業委員会会長大会へ出席いただいておりますので、欠席でございます。また、6 番委員からも欠席届の提出がありましたので、出席委員は 1 9 名でございます。

議事録署名委員の指名

会 長 本総会での議事録署名委員の指名をいたします。
議事録署名委員は、3 番 安田敬司 委員、2 1 番 鳴海正文 委員にお願いします。

送付議案書の訂正

会 長 審議に入ります前に、送付議案書の訂正がありますので、事務局の説明を求めます。

事務局 議案の訂正をお願いします。9 ページをお願いします。議案第 7 1 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、認定農業者分、受付番号 8 番の渡人の氏名変更をお願いします。理由につきましては、議案書発送後に渡人が死亡していることが発覚し、相続権を有する 2 分の 1 を超える相続権者に確認したところ、今回の内容については同意するとの承諾をいただいております。したがって、渡人の氏名を相続人代表の者の氏名に変更させていただきます。以上でございます。

会 長 説明はお聞きのとおりであります。
ただちに議案審議に入ります。

報告：農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について

会 長 まず報告、農地法第 1 8 条第 6 項の規定による届出について事務局より報告させます。

事務局 農地法第 1 8 条第 6 項の規定による合意解約について報告いたします。
今回の合意解約は 1 0 件でございます。内容といたしましては、賃借人等の申し出等が、解約の理由となっております。お目通しいただきたいと思います。以上でございます。

会 長 報告はお聞きのとおりであります。

議案第 6 7 号：農地法第 3 条の規定による許可申請について

会 長

次に、議案第 6 7 号は、農地法第 3 条の規定による許可申請について、であります。議案第 6 7 号、受付番号 1 番の 1 件について、審議決定を行いたいと思います。それでは、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 6 7 号、農地法第 3 条の規定による許可申請は受付番号 1 番の使用貸借権の設定に関する 1 件であります。事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第 3 条第 2 項各号の不許可の事由につきましては、

「第 1 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が行う農業経営に必要な機械の所有状況・労働力・技術面からみて、現在の経営農地と今回の許可申請農地を含めたすべての耕作農地を効率的に利用し、農業経営を行うことができないと認められる場合

「第 2 号」 農業生産法人以外の法人が権利を取得する場合

「第 3 号」 今回の許可申請内容が、信託の引受けによる権利の取得であること

「第 5 号」 権利取得を含めた経営農地が、5 0 アールに達しない場合

「第 6 号」 今回の申請農地を、転貸しようとする場合

「第 7 号」 周辺の地域における農地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがあると認められる場合、であります。

受付番号 1 番の受人は、今年 4 月に設立された新規法人であります。営農計画書が提出されており、農地法第 3 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をよろしくお願いします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に関連して、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号 1 番の 1 件をお願いします。

5 番

議案第 6 7 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号 1 番の使用貸借権の設定に関する 1 件であります。受付番号 1 番につきましては、今般、申請人は農業生産法人として経営していく為、個人所有地を法人へ貸し付けるものであります。法人は今年 4 月 1 日に設立し、今回の申請地も含め約 1 2 ha の農地に飼料を作付し、約 2 4 0 頭の牛を飼育していく計画であり、機械保有・労働力・技術面についても問題はなく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。又、法人の構成員は家族 3 名で年間 2 5 0 日以上

5 番

常時従事する計画であり、今までどおり飼料を作付されていくため、周辺農地の営農条件に支障を与える恐れもありません。尚、地域農業に関する話し合い等には積極的に参加されている為、何も問題ありません。以上、福島地区委員会において、受付番号 1 番の 1 件を慎重審議してまいりましたが、農地法第 3 条の許可要件を満たしており何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。
只今から、議案第 6 7 号について質疑に入ります。質疑はございませんか？

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案第 6 7 号、受付番号 1 番の 1 件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議無しということですので、議案第 6 7 号、受付番号 1 番の 1 件は許可することに決定いたします。

議案第 6 8 号：農地法第 4 条の規定による許可申請に対する意見について

会 長

次に、議案第 6 8 号は、農地法第 4 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について、であります。
それでは、議案第 6 8 号、受付番号 1 番の 1 件について議題といたします。
まず、事務局からの説明を求めます。

事務局

議案第 6 8 号、農地法第 4 条の規定による許可申請は受付番号 1 番の 1 件であります。農地法第 4 条第 2 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、
「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合
「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合
「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合
「3 号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認め

事務局

られない場合

「４号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

また、受付番号１番の１件の申請地農地区分につきましては、農地法第５条第２項第１号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、さらに「農地法の運用について」で制定されております、市街地の区域内、又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、都市計画法 第８条第１項１号に規定されている、道路の沿道としての地域の特性にふさわしい業務の利便の増進を図りつつ、これと調和した住居の環境を保護するため定める地域「準住居地域」に定められているため「第３種農地」に区分されますので、農地法第５条第２項１号ロには該当しておりません。したがって、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号１番の１件につきましては、農地法第４条第２項各号に該当していないため、許可要件の全てを満たしていると思われまます。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。

只今の説明に関連して、関係地区委員会から調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。

それでは、福島地区委員会より受付番号１番の１件の説明をお願いします。

５ 番

議案第６８号、農地法第４条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号１番の１件でございます。受付番号１番の申請地の周囲は、住宅化が進んでいる地域であり、申請人所有の隣接地を今後宅地として売却するに当たり進入路が必要なため、今回申請し公衆用道路として利用する計画であります。土砂流失を防止する為、縁石と排水路を設置し市道側溝へ流す計画でありますので周辺に支障を及ぼす恐れはないと考えます。以上、福島地区委員会において、受付番号１番の１件を慎重審議してきましたが、農地法第４条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしくをお願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

これより、議案第６８号について質疑に入ります。質疑はございませんか？

（ なしの声 ）

会 長

ないようですので、議案第 6 8 号、受付番号 1 番の 1 件について、決定してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

会 長

異議なしということですので、議案第 6 8 号、受付番号 1 番の 1 件は、許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

議案第 6 9 号：農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について

会 長

次に、議案第 6 9 号は、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について、であります。それでは、議案第 6 9 号、受付番号 1 番の 1 件を議題といたします。まず、事務局からの説明を求めます。

事務局

議案第 6 9 号、農地法第 5 条の規定による許可申請は受付番号 1 番の所有権移転に関する 1 件であります。

農地法第 5 条第 2 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地域内にある農地である場合

「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「3 号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合

「4 号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

また、受付番号 1 番の 1 件の申請地農地区分につきましては、農地法第 5 条第 2 項第 1 号イにあります、農用地域内にある農地ではなく、さらに「農地法の運用について」で制定されております、市街地の区域内、又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、都市計画法 第 8 条第 1 項 1 号に規定されている、道路の沿道としての地域の特性にふさわしい業務の利便の増進を図りつつ、これと調和した住居の環境を保護するため定める地域「準住居地域」に定められているため「第 3 種農地」に区分されますので、農地法第 5 条第 2

事務局

項 1 号口には該当しておりません。したがいまして、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号 1 番の 1 件につきましては、許可要件を全て満たしていると思われまますので、皆さんのご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明はお聞きのとおりでございます。只今の説明に関連して、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。

それでは、福島地区委員会より受付番号 1 番の 1 件の説明をお願いします。

5 番

議案第 6 9 号、農地法第 5 条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号 1 番の 1 件でございます。受付番号 1 番については、受入は現在、家族 4 人で借家に居住しているが、子供の成長とともに手狭になったため、今回個人住宅を建設する計画であります。受入は、7 月 2 5 日から造成工事に入り 1 0 月 1 5 日までに建築工事を完了する計画であります。申請地周辺は住宅化が進んでいる地域であり、周囲も先ほど 4 条申請で審議された公衆用道路予定地であります。又、土砂流失防止のため周囲をブロック積み、生活雑排水については市の下水道へ流す計画であり、転用による農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれはなく、周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれはありません。尚、住宅建設に当たっては、隣接所有者との境界紛争が生じないようお願いしたところであります。以上、福島地区委員会において、受付番号 1 番の 1 件を慎重審議してきましたが、農地法第 5 条の許可要件を満たしているため、何も問題ございません。ご審議方宜しくをお願いします。

会 長

説明はお聞きのとおりでございます。これより、議案第 6 9 号、受付番号 1 番の 1 件について質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようですので、議案第 6 9 号、受付番号 1 番の 1 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長 異議なしということですので、議案第 6 9 号、受付番号 1 番の 1 件は、許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

農用地利用集積計画の承認に伴う市長部局提案

会 長 次に、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、であります。審議に入ります前にあらかじめ、市からの提出議案の面積・件数等を事務局より説明させます。

事務局 平成 2 7 年 5 月分につきましては、串間市長より平成 2 7 年 5 月 1 9 日付で、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 1 項の規定による農用地利用集積計画の決定が求められております。
内容につきましては、議案第 7 0 号・所有権移転が 1 件・面積が 3, 4 7 3 ㎡、議案第 7 1 号・受人が認定農業者である利用権設定が 8 件・面積が 1 6, 0 1 6 ㎡、議案第 7 2 号・受人が一般農業者である利用権設定が 6 件・面積が 1 3, 7 9 9 ㎡であります。以上でございます。

会 長 説明はお聞きのとおりであります。それでは、ただいまから市からの提案について、審議に入ります。

議案第 7 0 号：農用地利用集積計画の承認について 所有権移転分

会 長 議案第 7 0 号は、農用地利用集積計画の所有権移転の承認について、であります。
それでは、議案第 7 0 号、受付番号 1 番の 1 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局 議案第 7 0 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分は、受付番号 1 番の 1 件であります。この 1 件について、説明いたします。

「農用地利用集積計画の承認の該当要件」につきましては、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項、第 1 号) 今回の農用地利用集積計画の内容が「地域の農業構造の現状及びその見通しのもとに、地域農業を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成とともに、意欲と能力のある者が農業経営の発展を目指すにあたってこれを支援する農業経営基盤強化促進事業その他の措置を総合的に実施する。」とある串間市の基本構想に適合するものであること。

事務局

第2号)イ 耕作又は養畜の事業に供すべき農用地のすべてを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること。

第2号)ロ 耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること。

であり、事務局によります申請書類の審査において、受付番号1番の1件については、農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の該当要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。それでは、只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。福島地区委員会より、受付番号1番の1件をお願いします。

5 番

議案第70号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、福島地区は受付番号1番の1件でございます。

この1件において、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号1番の1件においては、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

只今から、議案第70号、受付番号1番の1件について、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案70号、受付番号1番の1件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議無しということですので、議案第70号、受付番号1番の1件について、決定して市へ通知します。

議案第 7 1 号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・認定農業者分

会 長

次に、議案第 7 1 号は、農用地利用集積計画の利用権設定・認定農業者分について、であります。それでは、議案第 7 1 号、受付番号 1 番から 8 番の 8 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明をさせます。

事務局

議案第 7 1 号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・認定農業者分であります。今回の譲受人が認定農業者分につきましては、受付番号 1 番から 8 番の 8 件であります。この 8 件について説明いたします。事務局によります申請書類の審査において、受付番号 1 番から 8 番の 8 件につきましては、議案第 7 0 号で説明いたしました、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項各号の該当要件をすべて満たしていると思われまゝ。また、受付番号 4 番と 5 番と 8 番の 3 件につきましては、所有者死亡により、相続人代表での申請となっております。渡人である所有者が死亡している場合には、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 3 項第 4 号の規定により、所有権を有する全ての者の同意が得られていることとなっております。ただし、契約期間が 5 年を超えない利用権の設定の場合には、所有権を有する者の 2 分の 1 を超える同意が得られていれば足りることとなっております。受付番号 4 番と 5 番と 8 番の 3 件につきましては、契約期間が 5 年を超えておらず、所有権を有する者の 2 分の 1 を超える同意が得られているため、該当要件を満たしております。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号 1 番から 7 番の 7 件の説明をお願いします。

5 番

議案第 7 1 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・認定農業者分、福島地区は受付番号 1 番から 7 番の 7 件であります。この 7 件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 1 番から 7 番の 7 件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。以上でございます。

会 長

次に、大東地区委員会より、受付番号 8 番の 1 件の説明をお願いします。

1 3 番

議案第 7 1 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・認定農業者分、大東地区は受付番号 8 番の 1 件であります。この 1 件において、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、大東地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 8 番の 1 件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

只今から、議案第 7 1 号、受付番号 1 番から 8 番の 8 件について、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案 7 1 号、受付番号 1 番から 8 番の 8 件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議無しということでありますので、議案第 7 1 号、受付番号 1 番から 8 番の 8 件について、決定して市へ通知します。

議案第 7 2 号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・一般農業者分

会 長

次に、議案第 7 2 号は、農用地利用集積計画の利用権設定・一般農業者分について、であります。それでは、議案第 7 2 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件について審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第72号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・一般農業者分であります。今回の譲受人が一般農業者分につきましては、受付番号1番から6番の6件であります。この6件について説明いたします。事務局によります申請書類の審査において、受付番号1番から6番の6件につきましては、議案第70号で説明いたしました、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の該当要件をすべて満たしていると思われます。また、受付番号3番と6番の2件につきましては、所有者死亡により、相続人代表での申請となっております。渡人である所有者が死亡している場合には、農業経営基盤強化促進法第18条第3項第4号の規定により、所有権を有する全ての者の同意が得られていることとなっております。ただし、契約期間が5年を超えない利用権の設定の場合には、所有権を有する者の2分の1を超える同意が得られていれば足りることとなっております。受付番号3番と6番の2件につきましては、契約期間が5年を超えておらず、所有権を有する者の2分の1を超える同意が得られているため、該当要件を満たしております。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。まず、都井地区委員会より、受付番号1番と2番の2件の説明をお願いします。

20番

議案第72号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・一般農業者分、都井地区は受付番号1番と2番の2件でございます。この2件の全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、都井地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号1番と2番の2件においては、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

次に、市木地区委員会より受付番号3番から6番の4件の説明をお願いします。

22番

議案第72号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・一般農業者分、市木地区は受付番号3番から6番の4件でございます。この4件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行

2 2 番

う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、市木地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号 3 番から 6 番の 4 件においては、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。
只今から、議案第 7 2 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件について、質疑に入ります。
質疑はありませんか。

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案 7 2 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議無しということですので、議案第 7 2 号、受付番号 1 番から 6 番の 6 件について、決定して市へ通知します。暫時休憩いたします。

(・・・農業振興課・農政企画担当者 入室・・・)

議案第 7 3 号：農用地利用規定の認定に係る意見聴取について

会 長

休憩前に引き続き会議を開きます。
次に、議案第 7 3 号は、「桂原農用地利用改善団体」の農用地利用規定の認定に係る意見聴取について、であります。それでは、農業振興課・担当者から説明を求めます。

(・・・農政企画係 担当者説明・・・)

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。それでは、只今の説明に対し、質疑に入ります。
質疑はございませんか。

会 長

ないようですので、担当課の退席を求めます。暫時休憩します。

(・・・農政企画係 担当者退席・・・)

会 長

休憩前に引き続き会議を開きます。それでは、只今の説明に対して、委員の皆さんより意見を求めます。何かありませんか。

3 番

議案第 7 3 号について、農用地利用規定を提出された桂原地区が福島地区管内でありますので、意見を述べさせていただきますと思います。今回の「桂原農用地利用改善団体」から提出された、農用地利用規程につきましては、農業者の高齢化・後継者不足による担い手不足という桂原地区の現状から、同地区の農業振興を図るため、農用地の有効利用と農業経営改善を促進する取り組みとして設けられたものでございまして、桂原地区農用地利用規定第 2 条第 1 項各号にありますように、①作付地の集団化、②農作業の効率化、③農用地の集積と耕作放棄地防止・解消を図るための農用地利用改善団体の設立であることから、提出された農用地利用規程の認定について妥当であると思います。以上です。

会 長

3 番委員からだされた意見につきましては、先ほど説明のあった農用地利用規定が、地域の実情に十分に踏まえた規定になっているとの意見でございます。他に意見はありませんか。

(なしの声)

会 長

それでは、お諮りいたします。3 番委員からだされた意見を付して、農用地利用規定が妥当であると市へ通知することに、異議はありませんか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、出された意見を付して農用地利用規定が妥当であることを通知します。
以上で先に送付いたしました議案の審議は全部終了いたしました。慎重・審議誠にありがとうございました。